

マンション販売都心「好調」6割

民間
まとめ

コンサルティング会社
のトータルフレイン(東
京・港)は首都圏で20
13年に発売された新築
マンションの販売状況を
まとめた。東京都心では

「好調」が61%となり、
12年の2倍近くに増加し
た。「苦戦」は12%で、
3分の1に減った。販売
価格や金利の先高観が消
費者の購入意欲を刺激。

アベノミクスによる景気
回復期待を追い風にマン
ション販売が伸びた。
売れ行きは「好調」「ま
ずまず」「苦戦」の3段
階で評価した。首都圏全

体では「好調」が42%。
千代田、新宿、渋谷、文
京の4区は7割を超え、
都心の好調さが際立つ。

都心物件の平均価格は
12年比1割強高い約74
00万円。「30〜40代
の社員が親の資金援助を
受けて2千万〜3千万円

の頭金で購入する例も目
立った」(トータルフレ
イン)という。4月に消
費税率が8%に上がる
が、マンション販売は好
調に推移する見通しだ。

13年1〜11月に首都圏
で発売された全727物
件について不動産会社に
販売状況を調査し、55
7物件で回答を得た。